

## 一般社団法人千葉市認知症介護指導者の会 第4期 第1回 定例理事会 議事録

1. 開催日時 令和4年12月26日(月) 19時00分～20時35分
2. 開催場所 オンライン会議 (Zoom 使用) にて開催
3. 理事・監事の数 理事数5名 監事数1名
4. 出席者 [理事] 梅本聡 永嶋丈晴 高橋秀明 滝澤秀児  
[特別参加] 石井紀明 氏 [当会正会員] (議事3まで)
5. 議長 梅本聡 [会長]
6. 議事録作成者 梅本聡 [会長]
7. 議事

### 2. 活動報告・検討等

#### (1) 第4回 認知症×セミナー

「認知症と未来を担う介護学生」～介護現場と学生の思いのミスマッチを防ごう～

(幹事：石井紀明・滝澤秀児)

令和4年12月17日に開催した上記セミナーについて、石井・滝澤両幹事より以下の報告があった。

○申込者数 21名 / 当日参加者数 20名

○現在、参加者アンケート回収中。後日アンケート結果を取りまとめ報告を行う予定

以下は、振り返りにより出席者より出された意見等

○初めての試みとなった Zoom によるオンライン LIVE 配信でのセミナー開催であったが、セミナー前日や当日午前中のテストでは問題がなかった映像と音声の配信で、一部音声が流れていない等のアクシデントが発生した(その場でアクシデント対応し、セミナー自体は進行できた)

○LIVE 配信を行っている現場では、参加者に映像・音声がどのように流れているか把握できない(今回は参加者がチャットで音声が流れていないことを知らせてくれた)。

今後オンライン LIVE 配信を行う場合はスマホ等を使い、参加者と同じ環境を配信現場で確認する等の対応を行う必要がある

○8月から準備を開始したが、広報を本格的に開始したのが開催1ヵ月強前からだった(広報を始めるのが遅すぎる)

原因・・・8月の段階で開催テーマは決定していたが、プログラムの決定に時間を要した(ほぼ月1回開催の理事会のみでプログラム案を報告・修正等を行っていたため)

○上記のことを踏まえ、次回以降は LINE・メール等を活用し、理事会開催を待たずに準備を進めること

(2) 第5回 認知症×セミナー

○幹事は「滝澤秀児 理事」

以下は幹事からの報告ならびに提案

○テーマは「認知症とVR」を予定している

○開催は令和5年3月を予定している

○開催準備について・・・これまで幹事2名体制で行ってきたが、前回（第4回）の準備では幹事2名以外にこれまでセミナー幹事（準備）の経験がある永嶋副会長・高橋秀理事も協力してくださった。

そこで第5回からのセミナー準備は、永嶋・高橋秀・滝澤・石井の4名体制で行っていくのが良いのではと考えている

○梅本会長から・・・毎回幹事1名（準備の中心人物）は必要。その幹事を他3名のメンバーがサポートして準備を進めるのがいいのではないか

→出席者全員賛成

○以上のことから、第5回の準備は4名体制を行うこととなった

○高橋秀理事より・・・これまでの認知症×セミナーで活用し、第5回でも申請を行う予定の「令和4年度千葉県介護人材確保対策事業費補助金」だが、申請期限が令和5年1月13日必着となっているため、本日（12/26）時点での準備状況では申請が間に合わない可能性がある

○梅本会長から・・・開催予定（令和5年3月）を延期した方がよい

→出席者全員賛成

○以上ことから、第5回の開催は令和5年4月以降とすることが決定した。また、具体的な日程の決定は今後の理事会にて行うこともあわせて決定した。

(3) ヨルゼミ（千葉県社会福祉研修センター様より当会に講師依頼）について

（講師担当：永嶋丈晴・石井紀明）

以下、永嶋副会長より報告があった。

○令和5年1月8日に依頼先（千葉県社会福祉研修センター：担当山村氏）と開催に向けた打合せを行う予定である。

(4) 支援専門職 SCHOOL 運営部会（高橋秀明）

高橋部会長より、以下の報告があった。

○12月23日に、梅本会長・滝澤理事・高橋ならびにアドバイザーとして山村徹氏出席のもと、部会会議を開催した。

その会議にて来期からの「SCHOOL 利用プラン」「プログラム」の刷新を行うことが決定した。

詳細については会議録を確認していただきたい（本議事録に添付）。

(5) Zoom 等を活用したイベントについて (永嶋丈晴)

永嶋副会長より、以下の報告があった

- Instagram による LIVE 配信にて検討を進めている
- 

(6) 防災・減災等マニュアル策定部会 (永嶋丈晴)

永嶋部会長より、以下の報告があった。

- 当部会の活動は、現在休止中である

(7) 広報・IT 部会 (滝澤秀児・梅本聡)

特に報告・検討事項なし

3. 会務 (法人庶務)

(1) 会費請求 [正会員・準会員・賛助会員 会員有効期間の更新] の入金状況

- 永嶋副会長より、本日 (12/26) 時点での入金状況について報告があった。

(2) 事業計画・事業報告の作成について (梅本聡)

- 梅本会長より、当会の Google マイドライブ内に事業計画・事業報告のフォーマットを格納しておくので、各自担当箇所の入力を行っていただきたい  
→出席者各自了解する

# 支援専門職 school オンラインセミナーに関する打合せ結果について

## 1、開催日時

令和4年12月23日（金） 10時00分 ～ 14時30分

## 2、開催場所

千葉市社会福祉研修センター

## 3、出席者

[一般社団法人 千葉市認知症介護指導者の会]

梅本 聡 氏、滝澤 秀児 氏、高橋 秀明

[千葉市社会福祉研修センター]

山村 徹 氏

## 4、議事

### (1)法人プランについて

令和5年4月以降、法人プランの運用を開始する。それに伴い、プログラムを大幅に改定することとした。

#### ○法定研修コースについて

既存のプログラムは、指導者各位より実施可能又は実施してみたいテーマを募り、講義を実施してもらっていたが、次年度は下記のとおりとする。

①法定研修用のショート動画を作成する。(最低10分～15分の動画を作成して、YouTube上にもアップ)することも検討。ショート動画を見て、プラン購入につなげる等広告として活用しても良い。ただし、ショート動画は「誰でも視聴できるもの」と「プラン購入者でなければ視聴できないもの」に区別する。(例：基準上求められているもの、加算要件に必要な研修は、プラン購入者でなければ視聴できないものにする等)

#### ②法定研修コースのショート動画コンテンツ（案）

1. 認知症及び認知症ケアに関する研修
2. プライバシーの保護の取り組みに関する研修
3. 接遇に関する研修
4. 倫理及び法令遵守に関する研修
5. 事故発生又は再発防止に関する研修（福祉用具含む）
6. 緊急時の対応に関する研修（福祉用具含む）
7. 感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修
8. 身体拘束の排除の為の取り組みに関する研修
9. 非常災害時の対応に関する研修
10. ターミナルケアに関する研修
11. 高齢者虐待防止関連法を含む虐待防止に関する研修

③さらに深く学びたい方のために、オンラインセミナーを実施する。

#### ④オンラインセミナーのコンテンツ（案）

「看取り介護加算の算定の仕方等、加算の取り方」「看取りの実践編」  
「認知症関連 行動・心理症状」「LIFEの利活用」「感染症の総論と各論」

(2)次年度の支援専門職 school プログラム等について(教室は3時間を基本とする)

- ・ スクールコンテンツは、外部講師の登用も検討する。
- ・ 教室系についてのコンセプトひとつのテーマの深掘りが基本
- ・ 認知症介護指導者の会としての絶対的コンテンツとは何か。  
→梅本聡氏の存在は指導者の会の強み。よって、指導者の会の絶対的コンテンツとして梅本氏を活用した企画を検討したい
- ・ 来年度の教室プログラム(案)
  - 運営基準(介護老人福祉施設(従来型・ユニット型)・認知症対応型共同生活介護・介護老人保健施設…)
  - 介護技術(食事・排せつ・移乗・移動等、生活場面にそくしたもの)
  - 認知症
  - コミュニケーション技術 等

(3)その他

- ・ 来年度は活動・運営のサポーターを募集することとしたい。Webサイトにバナーを貼る等で運営サポーターの募集をかけてはどうか。理事会で検討する。
- ・ 会員特典のZOOMフリーミーティング、QAの開催や外部講師を呼んでのイベント等会員特典の内容を検討する必要がある。
- ・ 支援専門職 school のプランの整理が必要ではないか(現在のプラン名称では、わかりにくさもあるため、名称変更を実施。例：フリーパス等)